

第3次岐阜県廃棄物処理計画の中間見直し 減量化の目標設定 ～第3次計画から目標を見直す項目～

1 見直しの前提

- 2025 年（令和 7 年）2 月に、国の基本方針（「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な指針」）が変更
- 国の基本方針の変更に併せて、第3次岐阜県廃棄物処計画の 2030 年（令和 12 年）度目標を見直す必要

2 一般廃棄物

（1）現状

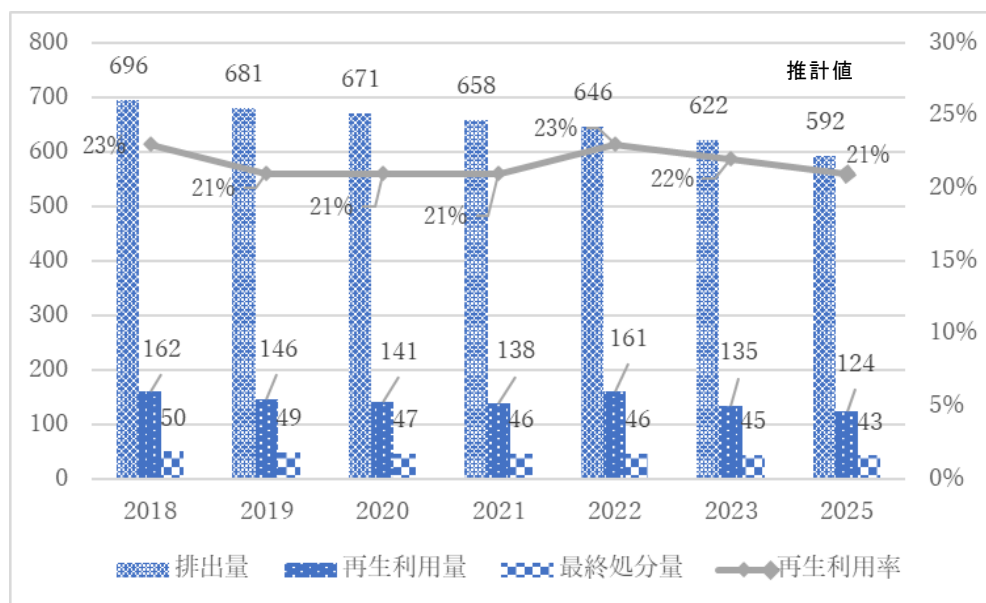
- 排出量は、2018 年（平成 30 年）度以降の平均減少量（約 14.8 千トン／年）からすると、令和 7 年度においては 592 千トンと推計され、目標達成は可能である見込み。
- 再生利用率（量）は、基準年度である 2018 年（平成 30 年）度以降増加せず、目標値との乖離が大きくなっており、目標達成は困難である見込み。（H30 から約 5.4 千トン／年減少しており、仮に同水準で推移した場合、令和 7 年度は 21%）
- 最終処分量についても、令和 3 年度以降やや下げ止まっており、目標達成は困難である見込み。（H30 から約 1 千トン／年減少）

（単位：千トン）

年 度	2018 H30	2019 R 元	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2025 R7 推計	2025 R7 目標	達成 状況
排 出 量	696	681	671	658	646	622	592	608	○
再生利用率（量）	23% (162)	21% (146)	21% (141)	20% (134)	21% (138)	22% (135)	21% (124)	28% (170)	×
最 終 処 分 量	50	49	47	46	46	45	43	42	×

一般廃棄物の排出量等の推移

（単位：千トン）



(2) 目標設定

○ 案1：国の基本方針における目標数値を踏まえ、県として新たな目標を設定

< 現行の計画での目標 >

(単位：千トン)

項目	年度	2025 (R7)	2030 (R12)
排出量		608	548
再生利用率(量)		28% (170)	29% (159)
最終処分量		42	37

■ 国の基本方針「参考となる目標数値」

[目標年度] 2030 年 (令和 12 年) 度

[考え方]

- ・ 排出量 2030 年 (令和 12 年) 度に、約 3700 万トン
(令和 4 年度目標値 (4000 万トン) 比で、約 9 %削減)
- ・ 再生利用率 2030 年 (令和 12 年) 度の排出量に対する割合を約 26%
(令和 4 年度目標値 (約 20%) 比で、約 30%増)
- ・ 最終処分量 2030 年 (令和 12 年) 度に、約 320 万トン
(令和 4 年度目標値 (340 万トン) 比で、約 5 %削減)

< 案1の試算 >

- 国が示した排出量の目標値に対する、全国の排出量合計に占める岐阜県の割合を算出

[試算結果]

(単位：千トン)

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (案 1)
排出量	696	622	592
再生利用率 (量)	23% (162)	22% (135)	26% (154)
最終処分量	50	45	45

➔ 排出量、再生利用率 (量)、最終処分量ともに、現計画目標値と比べ、緩やかな試算結果

～試算内訳～

【排出量】

- ・ 全国の排出量に占める岐阜県の割合＝約 1.6%
(参考) ・ 2023 年 (令和 5 年) 度の全国総排出量：38,970 千トン
・ 2023 年 (令和 5 年) 度の岐阜県総排出量：622 千トン
- ・ 2030 年 (令和 12 年) 度の岐阜県の排出量
約 3700 万トン (国目標値) × 1.6% = 592 千トン

【再生利用量 (率)】

- ・ 国が示した参考となる目標数値 (約 26%) を採用

【最終処分量】

- ・ 全国の排出量に占める岐阜県の割合＝約 1.4%
(参考) ・ 2023 年 (令和 5 年) 度の全国最終処分量合計：316 万トン
・ 2023 年 (令和 5 年) 度の岐阜県最終処分量：45 千トン
・ 2025 年 (令和 7 年) 度の岐阜県最終処分量
約 320 万トン (国目標値) × 1.4% = 45 千トン

○ 案 2：現計画策定時（R2）に設定した 2030 年（令和 12 年）度の目標値を採用

（単位：千トン）

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (案 2)
排出量	696	622	548
再生利用率（量）	23%(162)	22%(135)	29%(159)
最終処分量	50	45	37

＜参考：現計画策定時に設定した際の試算方法（令和 2 年度審議会資料より）＞

【排出量】

- ・ 2018 年（平成 30 年）度実績から令和 7 年度目標値までの減少量
＝▲12 千トン／年
- ・ 2030 年（令和 12 年）度の岐阜県の排出量＝548 千トン

【再生利用量（率）】

- ・ 国の基本方針では、2020 年（令和 2 年）3 月に示した参考となる目標数値において、平成 28 年度改訂時より 1 %高い割合（27%→28%）を提示している。県としてもこれを踏まえ、更なる再利用を推進すべく、令和 12 年度の目標値を 29%とした

【最終処分量】

- ・ 平成 30 年度実績から令和 7 年度目標値までの減少量＝▲1.1 千トン／年
- ・ 令和 12 年度の岐阜県の最終処分量＝37 千トン

（3）採用する目標（案）

- 排出量の減少実績（約 14.8 千トン/年）を踏まえ、2030 年（令和 12 年）度における排出量は案 2 の 548 千トンとする。
- 再生利用率（量）は、案 2 の 29%(159 千トン)とする。
- 最終処分量については、直近の実績（約 1 千トン減/年）を踏まえ、案 2 の 37 千トンとする。

（単位：千トン）

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (見直し後)
排出量	696	622	548
再生利用率（量）	23%(162)	22%(135)	29%(159)
最終処分量	50	45	37

(4) 国の基本方針変更に伴い追加された指標（1人1日当たりのごみ焼却量）

○ 案1：国の基本方針における目標数値を、県としての新たな目標に設定

■ 国の基本方針「参考となる目標数値」

[目標年度] 2030年（令和12年）度

[考え方]

- ・ 1人1日当たりのごみ焼却量 約580g（R4:679g）
 - ▶ 発生抑制の取組みに加え、自治体等のごみ焼却処理から循環利用への転換に向けた取組みの進展を表わす指標として新規追加

< 案1 >

- 国が示した1人1日当たりのごみ焼却量の目標値を採用
〈1人1日当たりのごみ焼却量580g〉

○ 案2：本県における過去の実績をもとに算出

[試算結果]

(単位：g)

年度	2018(H30) (基準年度)	2023(R5) (直近の実績)	2030(R12) (案2)
1人1日当たりのごみ焼却量	696	656	600

～試算内訳～

- ・ 2018年（平成30年）度から2023年（令和5年）度の減少量＝▲40g
(参考)・2023年（令和5年）度の1人1日当たりのごみ焼却量：656
 ・ 2018年（令和5年）度の1人1日当たりのごみ焼却量：696
- ・ 過去5年間の平均減少量＝▲8g
- ・ 2030年（令和12年）度の1人1日当たりのごみ焼却量＝600g

(5) 採用する目標（案）

- 2030年（令和12年）度における1人1日当たりのごみ焼却量は、国の基本方針における目標数値である、案1の580gとする。

3 産業廃棄物

(1) 現状（農業を除く）

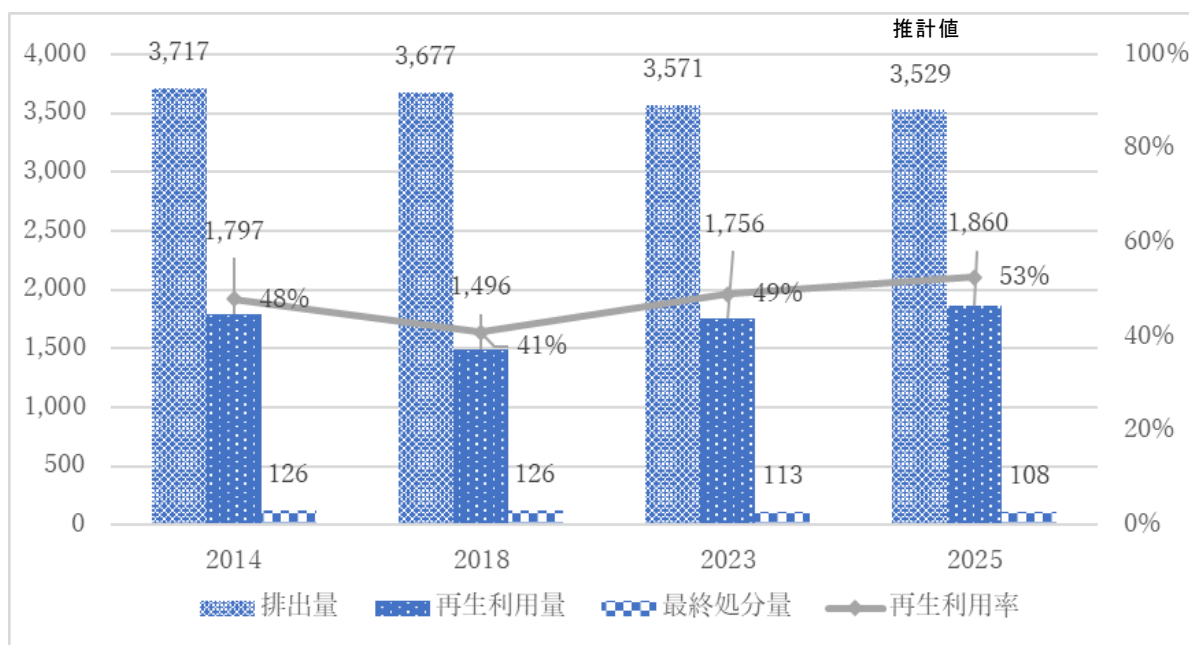
- 排出量は、2023 年（令和 5 年）度時点で既に目標を達成している。
- 再生利用率（量）は、2018 年（平成 30 年）度以降増加傾向にあるものの、目標値とは乖離が大きく、目標達成は困難である見込み。
- 最終処分量については横ばいで推移していたが、2023 年（令和 5 年）年度に減少に転じている。仮に、2018 年（平成 30 年）度から 2023 年（令和 5 年）度間の最終処分量の減少量 13 千トンから、1 年間あたり約 2.6 千トン減少するとした場合、目標達成は困難である見込み。

（単位：千トン）

年度	2014 (H26)	2018 (H30)	2023 (R5)	2025 R7 推計	2025 R7 目標	達成状況
排出量	3,717	3,677	3,571	3,529	3,677	○
再生利用率 (量)	48% (1,797)	41% (1,496)	49% (1,756)	53% (1,860)	56% (2,059)	×
最終処分量	126	126	113	108	105	×

産業廃棄物の排出量等の推移

（単位：千トン）



(2) 目標設定

○ 案1：国の基本方針における目標数値を踏まえ、県として新たな目標を設定

< 現行の計画での目標 >

(単位：千トン)

項目 \ 年度	2025 (R7)	2030 (R12)
排出量	3,677	3,677
再生利用率(量)	56% (2,059)	56% (2,059)
最終処分量	105	105

■ 国の基本方針「参考となる目標数値」

[目標年度] 2030年(令和12年)度

[考え方]

- ・ 排出量 2030年(令和12年)度に、約3740万トン
(令和4年度目標値(3700万トン)比で、約1%増加に抑制)
- ・ 再生利用率 2030年(令和12年)度の排出量に対する割合を約37%
(令和4年度目標値(約37%)と同程度)
- ・ 最終処分量 2030年(令和12年)度に、約780万トン
(令和4年度目標値(870万トン)比で、約10%削減)

< 案1の試算 >

- 国が示した排出量の目標値に対する、全国の排出量合計に占める岐阜県の割合を算出

[試算結果]

(単位：千トン)

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (案1)
排出量	3,677	3,571	3,590
再生利用率(量)	41%(1,496)	49%(1,756)	37%(1,328)
最終処分量	126	113	99

➔ 排出量は、令和5年度実績を上回っている。

➔ 再生利用率(量)、最終処分量とも、令和5年度実績を下回っている。

～試算内訳～

【排出量】

- ・ 全国の排出量に占める岐阜県の割合＝約 1.2%

(参考) ・ 令和 5 年度の全国総排出量 : 365,044 千トン (農業を含む)

・ 令和 5 年度の岐阜県総排出量 : 4,462 千トン (農業を含む)

・ 令和 5 年度の岐阜県総排出量 : 3,571 千トン (農業を除く)

・ 令和 12 年度の岐阜県の排出量

約 3740 万トン (国目標値) $\times 1.2\% = 4,488$ 千トン (農業を含む)

- ・ 令和 12 年度の岐阜県の排出量

岐阜県の農業を除く排出量は、農業を含む排出量の 80%

4,488 千トン (農業を含む) $\times 80\% = 3,590$ 千トン (農業を除く)

【再生利用率 (量)】

- ・ 国が示した参考となる目標数値 (約 37%) を採用

【最終処分量】

- ・ 全国の最終処分量に占める岐阜県の割合＝約 1.4%

(参考) ・ 令和 5 年度の全国の最終処分量合計 : 8,628 千トン (農業を含む)

・ 令和 5 年度の岐阜県の最終処分量 : 124 千トン (農業を含む)

・ 令和 5 年度の岐阜県の最終処分量 : 113 千トン (農業を除く)

- ・ 令和 12 年度の岐阜県の最終処分量

約 780 万トン (国目標値) $\times 1.4\% = 109$ 千トン (農業を含む)

- ・ 岐阜県の農業を除く最終処分量は、農業を含む最終処分量の 91%

109 千トン (県 R12 農業を含む目標) $\times 91\% = 99$ 千トン (農業を除く)

- 案 2 : 現計画策定時 (R2) に設定した 2030 年 (令和 12 年) 度の目標値を採用

(単位 : 千トン)

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (案 2)
排出量	3,677	3,571	3,677
再生利用率 (量)	41% (1,496)	49% (1,756)	56% (2,059)
最終処分量	126	113	105

→ 排出量は、令和 5 年度実績を上回っている。

<参考：現計画策定時に設定した際の試算方法（R2 年度審議会資料より）>

【排出量】

- ・国の指標を参考にした場合、2018 年（平成 30 年）度の実績より大きな値になってしまうため、2018 年（平成 30 年）度の実績を維持したもの

【再生利用量（率）】

- ・国の指標を参考にした場合、2018 年（平成 30 年）度の実績より小さな値になってしまうため、2020 年（令和 2 年）度の目標を維持したもの

【最終処分量】

- ・国の指標を参考にした場合、2018 年（平成 30 年）度の実績より大きな値になってしまうため、2020 年（令和 2 年）度の目標を維持したもの

○ 案 3：2030 年（令和 12 年）度の推計値を目標値に採用

（単位：千トン）

年度	2018 (H30) (基準年度)	2023 (R5) (直近の実績)	2030 (R12) (案 3)
排出量	3,677	3,571	3,423
再生利用率（量）	41%(1,496)	49%(1,756)	62%(2,120)
最終処分量	126	113	95

→ 排出量は、令和 5 年度実績を下回っている。

→ 再生利用率（量）、最終処分量とも、令和 5 年度実績を上回っている。

～試算内訳～

【排出量】

- ・2018 年（平成 30 年）度から 2023 年（令和 5 年）度間の減少量＝▲106 千トン
（参考）・2023 年（令和 5 年）度の排出量：3,571 千トン（農業を除く）
・2018 年（平成 30 年）度の排出量：3,677 千トン（農業を除く）
- ・過去 5 年間の平均減少量＝▲21.2 千トン
- ・2030 年（令和 12 年）度の岐阜県の排出量
 $3,571 \text{ 千トン（令和 5 年度の実績）} - 148.4 \text{ 千トン} = \underline{3,423 \text{ 千トン}}$ （農業を除く）

【再生利用率（量）】

- ・2018 年（平成 30 年）度から 2023 年（令和 5 年）度間の増額量＝260 千トン
（参考）・2023 年（令和 5 年）度の再生利用量：1,756 千トン（農業を除く）
・2018 年（平成 30 年）度の再生利用量：1,496 千トン（農業を除く）
- ・過去 5 年間の平均増額量＝52 千トン
- ・2030 年（令和 12 年）度の岐阜県の再生利用量
 $1,756 \text{ 千トン} + 364 \text{ 千トン} = \underline{2,120}$

【最終処分量】

- ・2018 年（平成 30 年）度から 2023 年（令和 5 年）度間の増額量＝▲13 千トン
（参考）・2023 年（令和 5 年）度の最終処分量：113 千トン（農業を除く）
・2018 年（平成 30 年）度の最終処分量：126 千トン（農業を除く）
- ・過去 5 年間の平均減少量＝▲2.6 千トン
- ・2030 年（令和 12 年）度の岐阜県の最終処分量
 $113 \text{ 千トン（令和 5 年度の実績）} - 18.2 \text{ 千トン} = \underline{95 \text{ 千トン}}$ （農業を除く）

(3) 採用する目標(案)

- 排出量の減少実績(約 21.2 千トン/年)を踏まえ、2030 年(令和 12 年)における排出量は案 3 の 3,423 千トンとする。
- 再生利用率(量)は、案 3 の 62%(2,120 千トン)とする。
- 最終処分量については、案 3 の 95 千トンとする。

(単位:千トン)

年度	2018(H30) (基準年度)	2023(R5) (直近の実績)	2030(R12) (見直し後)
排出量	3,677	3,571	3,423
再生利用率(量)	41%(1,496)	49%(1,756)	62%(2,120)
最終処分量	126	113	95